情報と元気をお届けする飯島町の広報

いいじま未来飛行

2015 8

No.526

主な内容

特集１　定住促進　2
特集２　戦争体験を語り継ぐ　4
おしらせワイド　10
まちかどトピックス　12
300年前の大水害「未満水」　14
いいスポ　17
いいちゃん情報　22
暮らしのメモ　26

飯島町郷土研究会「8月の持ち寄り会（8月2日）」

郷土を知れば もっと飯島町が好きになる!

特集 1
定住促進

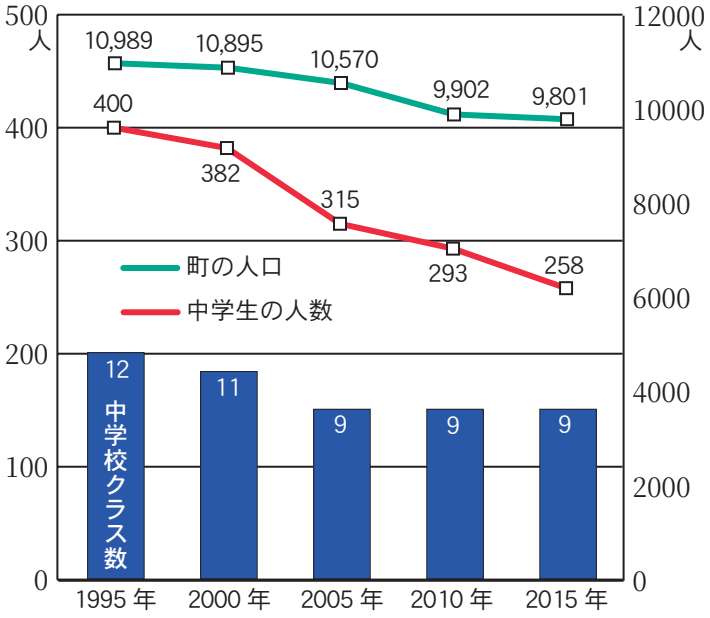
飯島町は、この 20 年間で人口がおよそ 1, 200 人減少…

飯島町を未来へつなぐために
定住促進室は全力でやります

1. なぜ今、定住促進なのか

現在の町の人口はおよそ9，８００人です。統計によると、**この20年間で1，２００人ほど減少**しています。全国的に少子高齢化による「人口減少時代」と言われ、人口が減ることは仕方がないことかもしれません。しかし、この20年間だけ見ても、**全国の流れよりも早く飯島町の人口は減少しています**。特に飯島中学校の生徒数を見ると、20年前に比べて１４２人、35％も減少しています。人口の減少は、町内のスーパーや商店の閉店、保育園の統合など、**生活への影響も少なくありません**。

今、飯島町は人口減少に歯止めをかけるため、定住促進により、「未来へ町をつなぐため」の取り組みを進めています。（参照 左のグラフ）



2. 時はまさに！ふるさと回帰現象!!

人口減少に頭を悩ます地方の現状を知ってか知らずか、近年は田舎へ移住したい人が増えています。都会で定年を迎え、第２の人生をのんびり過ごしたい人ばかりではなく、子育て世代の移住も増えています。飯島町でも、昨年度46組・111人の移住者やUターン者を迎え、そのうち**50歳未満の方がおよそ７割**にも上ります。移住された方の多くは、一般の会社に転職するか、自営業で生計を立てています。そして、豊かな自然環境の中で、子育てや趣味の山登りを楽しむなど、思い描いていた田舎暮らしを満喫しているようです。飯島町は伊那谷の中心に位置するため、**30分の通勤圏内にお勤めのまま、自宅は子育て環境が充実した飯島町に建設**しようという方も増えつつあります。

定住促進室
牛越真弓　木村彩香

定住促進室
林　成昭　　酒井崇宏

3. でも田舎暮らしには高いハードルが…

田舎暮らしをしたいと思っていても、実際に行動に移し、移住できる方はごくわずかです。一番の理由は「仕事に関する心配」ではないでしょうか。町ではこの課題を解決するため、**「無料職業紹介所」の開設を進めています。**今以上に就職や転職、農家の仕事などを紹介していきます。

また、移住された方が田舎の不便さや習慣の違いなどによるストレスをため込まないように、**移住者同士の情報交換や地域住民との交流ができる場として、「いいじま大縁会（だいえんかい）」を立ち上げます。**昔から飯島町に住むみなさんにご協力をいただき、移住者へ町の歴史や習慣を伝えながら、一緒に町を盛り上げていきたいと考えています。

4. 住みたい町をみんなでつくろう!!

飯島町を未来へつないでいくために、定住促進は重要です。定住を進めていくためには、町外からの移住者を呼び込むことはもちろん、もっとも重要なことは、**飯島町に暮らす「みなさんが飯島町に住み続けたいと思ってもらえる」町をつくること、**そして、移住されたみなさんが「移住してきてよかった」と思う町にしていくことです。結果として、みんなが住み続けたい町には移住者が増え、町を離れた方もUターンしたくなる…。そんな飯島町をみんなでつくりましょう!!

定住促進室からのお知らせ

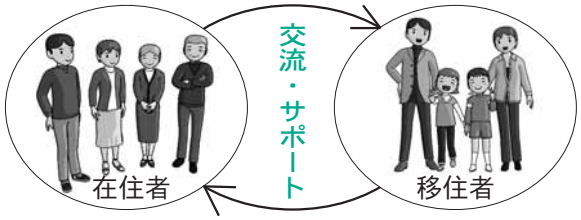
Coming Soon ♬

ただ今準備中！
もうすぐ始動!!

「いいじま大縁会（だいえんかい）」近日発足

移住者と在住者が仲良くなり、楽しい飯島町をつくる会です。飯島町にお住まいの方ならどなたでも参加できます。飯島町で出会った縁をみんなで大きくしていきましょう。

会員の中から、テレビへの出演依頼や移住サポートをお願いすることもあります。



「飯島町無料職業紹介所」開設

飯島町への移住・Uターンを考えている方はもちろん、町内で転職を考えている方もご利用いただけます。町内企業・個人事業主のみなさんからの求人情報も募集しますので、ご協力をお願いします。この秋の開所を目指しています。

特集2

終戦から70年 戦争体験を語り継ぐ

7月2日、飯島町戦傷病没者追悼式が文化館で挙行され、明治以降の戦争で亡くなられた384柱の御霊を慰霊しました。

歴史を振り返ると、日本はわずか50年余の間に4つの大戦争を続け、多くの命を犠牲にしました。今年は終戦から70年です。日本は戦争への反省から、どの国よりも平和を願う平和国家として国際社会での地位を築いてきました。しかし70年経った今、戦争当時を知る人々が少なくなり、戦争という歴史が語られる機会も減ってきました。戦後70年というこの節目に、日本の平和がどのような犠牲の上に築かれてきたのか、戦争体験を通じて考えみたいと思います。後世に戦争を語り継ぎ、学び知ることこそが、私たちの役目であり、戦争の犠牲になられた方々の慰霊になるのではないでしょうか。

日本の戦争

■1894年
日清戦争…朝鮮半島をめぐる清との戦争

■1904年【明治37年】
日露戦争…ロシアとの戦争

■1914年【大正3年】
第一次大戦…ヨーロッパの戦争に参戦

■1931年【昭和6年】
満州事変…満州の占領を経て、中国と武力紛争

■1937年【昭和12年】
日中戦争…中国との戦争

■1939年【昭和14年】
第二次世界大戦…ドイツがポーランドへ侵攻

■1941年【昭和16年】
太平洋戦争…連合軍(米・英・蘭)との戦争

■1945年【昭和20年】
・8月6日 **広島に原爆投下**
・8月9日 **長崎に原爆投下**
・8月15日 **終戦**(玉音放送で敗戦を伝える)
・以後 **シベリア抑留**
…日本軍捕虜がソ連で強制労働

■1956年【昭和31年】
シベリア抑留者帰国事業終了

昭和61年　飯島町郷土研究会　発行

写真集「飯島町の百年」より

この本で戦争中の飯島町を見ることができます。日露戦争から戦後の生活まで、町内で撮影された写真が41ページにわたり掲載されています。図書館で貸し出していますのでご覧ください。

飯島小学校校庭にて出征兵士を送る（昭和12年夏）

出征の様子（昭和13年4月13日）

慰問袋を作る追引耕地の人々（昭和18年）

陣屋跡地で軍用鍛練馬の練習（昭和14年）

飯島小学校の体操場で行われた村葬（昭和21年）
遺骨の中には名刺と小石のものもあった。中央には小学生も参列している。

飯島グラウンド西、七久保小学校西、日曽利神社には、戦没者の霊を慰める招魂碑・忠魂碑が建てられています。終戦後、進駐軍司令部の目を恐れて地下に埋めたり、人目につかないところへ隠したりしたそうですが、今では元のまま再建されています。飯島グラウンド西には、国内の武力紛争で起きた西南戦争（1877年）から太平洋戦争までの戦没者282名の名が刻まれている副碑が、七久保小学校校庭西には戦争に殉じた軍人や看護婦など109柱の名が刻まれた副碑が建てられています。これらの碑では毎年、遺族会による招魂祭が行われています。

飯島グラウンド西側の招魂碑・副碑

町の図書館には、住民の戦争体験をまとめた本が3冊あります。

■戦後四十八年の思い出
平成5年に飯島傷痍軍人会が発行、10人の体験が掲載されています。

■太平洋戦争と私
平成7年に中央公民館の歴史講座で作られた文集で、14人の受講生が体験を手記として寄せています。

■語り継ごう戦争体験
平成22年に中央公民館のことぶき学級で作成され、27人が自身の戦争体験を寄稿しています。

生々しい体験が綴られたこの本から、お二人の手記を紹介します。

戦時中は食べるものがなくて、「お国のために」と我慢する日々でした。

宮下きよ子さん（柏木）　81歳

お兄さんが出征した時の様子を手記にまとめられています。

語り継ごう戦争体験から

「豆でくるみで鯉」

柏木　宮下きよ子

私が赤穂国民学校に入学したのが、昭和16年の4月、その年の12月8日太平洋戦争が始まった。二十歳になった青年は戦地に、やがてはヤカン、鉄ビン、弁当箱まで戦地に送り役立てたのです。昭和18年いよいよ兄のところにも召集令状が来ました。母はさらしを買い求めて部落中歩いて、千人針をお願いしたわけです。

特に寅年の方には、赤い糸で幾針も縫っていただき、それを腹に巻いて身支度をして出征する前夜、身内ばかりの祝いの膳に「豆とくるみと鯉」をつけ、これは〝まめ（元気）で来る身で帰って来い〟と言う意味だそうです。

次の朝早く、集会所に部落の方々が集まっておられ、兄は「これから自分は出征し戦地に行きます。後をよろしく」と言い残して、日の丸の小旗に送られて赤穂駅まで私と母と一緒に送っていき、涙ながらに電車が見えなくなるまで小旗を振り続けました。父は私が5歳の時に亡くなっていたので、母はどんな気持ちで兄を見送ったでしょう。兄が出征してから毎朝、母は兄の影膳を供え無事を祈っておりました。時には、出征するときに髪の毛と爪を切って母に託した、それを時折見て、涙を流していた、今でも其の姿が目に浮かび胸が熱くなります。

日に日に戦争が激しくなり、食糧にも事欠くようになり、山にある「ビオウブの葉」「山オコギ」土手の「ヨモギ」「三つ葉」など、口に入るものは摘んできて食糧の足しにしたのです。

大変なことだったんです。日本は必ず戦争に勝つ！誰もが信じていたそんな折、五十鈴神社の裏に林があり、何の木か分かりませんがかなりの太い木の高いところを見上げると蛙の形の物体ができ、それを誰言うことなく「勝蛙だ、お参りに行かにやあいかん」といわれて行ってみたら、その木に注連縄がしてあって、十銭、五十銭が供えてあり、みんな揃って蛙に手を合わせ拝みました。しかし日本は敗戦となり、20年8月15日天皇陛下のお言葉が壊れかけた「ザーザー」となるラジオから流れ聞いた瞬間、一緒にいた仲間同士「わっ」と泣き伏し、そんな馬鹿なと我が耳を疑った。

9月中頃、兄が軍服姿で大きなリュックを背負って帰ってきました。「ただいま帰りました」と挨拶して玄関を入るなり私が、「兄ちゃ、まんまないに」と言ったそうです。えらいことを言ったものだ。兄はカンパンを持っているからと言って私にくれました。何年か経ち実家へ行くたびに「お前は俺に、兄ちゃ、まんまないに」と言ったよなと笑い話になった、その兄も十三年前（平成9年）に帰らぬ人となりました。

語り継ごう戦争体験から

メッチャ張り切り 軍国少年 今となりて 反省しきり…

今村茂義さん（柏木） 86歳

14歳から終戦までの軍隊体験を手記にまとめられています。

「軍隊体験」

柏木　今村茂義

昭和19年2月、八紘一宇殉国の精神に燃えて私は海軍へ志願し、山口県防府海軍通信学校（以下防通校）へ入校した。時に若干14歳、現在の中学2年生終了前である。山国に育ち、大海原とカッコイイ水兵服にあこがれての軍国少年だった。出発前夜、部屋の壁に寄りかかり鼻唄を歌っている無邪気な我が子を見た母は、今生の別れになるかもしれないと思うと胸に込み上げるものがあったようだが、当人は知るよしもなかった。

入校式の翌日から海軍魂を叩き込む独特の新兵教育が始まった。艦体構造から機能、兵器等の座学、手旗、結索の実技など、迅速と連帯責任を重んずる軍隊では1人のミスでも班50名全員が制裁を受ける。軍人精神注入棒と称するバットで容赦なく尻を打たれ、その痛さといったらない。ズシンと脳天まで響いてトイレに行ってもしゃがめない程だ。何かと言うと動作が遅いの、気合が入っていないのと、厳しい鍛錬の日課が続いた。教練で苦しかったのは、銃剣術で防具を脇に抱えタンポ槍を持って練兵場を駆け回ることだ。14歳の未熟な体では、苦しさに今にも倒れそうなのを耐えて走りぬいたものだ。海の男のカッター訓練。漕ぐ12人の櫂（かい）が揃わないと太い棒で容赦なくたたかれた。一通りの新兵教育は実弾訓練で終了となる。少年だから重い小銃は構えるのがやっと、しっかり銃床を肩に当てていないと、引き金と共に強い反動で肩が外れてしまうとの注意。高得点で褒美に菓子を頂いて久しぶりに甘いものにありついた。

4月、一等水兵へ昇進と共に電信技術訓練生を命ぜられ、モールス送受信の訓練が始まった。海軍においては、上官は何でも指示した事に確認を取る慣わしとなっている。「わかったか」「ハイッ」小生誰よりも先に大声で返事をする。これが認められる始まりか、伍長（級長）を命ぜられ班のリーダーを務めることになった。こうなると勉強も真剣だ。見本を示さねばと、夜9時消灯後のトイレの中、薄灯りの下で勉強も度々だった。かくして、頑張り抜き、分隊150名中第1位卒業の栄誉を得たが、防通校へ教員補として残ることとなりガッカリ。直ちに艦船勤務を願い出たが、担任教官から「これは命令だ」と言われてしまった。後になって教官の言葉がある。「今村、死に急ぐことはないんだよ」と。その時はまだ不満だったが今にして思えば…事実、我が班50名中戦死した者は、分かっているだけでも4名いる。元より死は覚悟とはいえ15歳ばかりの少年と言うのに。

防通校には17ヵ月在勤、その間家へ出したハガキが二十数通もあったのか、父が取っておいてくれ、近年倉を整理したら出てきた。よくも書いたもんだと自分ながら感心している。字も下手で誤りもあって恥ずかしいが一部を紹介してみたい。班長の指導もあり、訓練が厳しいの、辛いのとは絶対に書けない。軍隊生活は非常に愉快なものだとか、物を送ってくれるな、面会もいらない、はちきれんばかりの元気で軍務に精励云々（うんぬん）と…全部が本音で無いにしても14歳ながら軍国少年、腹ぺこで痩せてはいたが、ただ元気だけは旺盛だった。弟へも農商でしっかり勉強し、予科連を受けて、兄弟二人で皇国に尽くせば一家の名誉、この上もなしと書いてよこしている。更に驚きは、入校して1年たった20年2月、貯金したお金があるからと家へ仕送りしていることだ。当時の新兵の俸給は、6円5拾銭との記録があり、送ったとしても4、5拾円程度。家を思ったのか、よくこんなことまでしたもんだ。

軍隊生活で記憶に残る大きな一つは、我が防通校のある三田尻沖を通過した戦艦大和を見送ったことである。続く沖縄への特攻作戦で延べ数百にも達する艦載機の波状雷撃を受け、我が方には援護する航空戦力も無く、世界の誇る超弩（ど）級戦艦もあえなく海底の藻屑（もくず）と消えてしまった。あの時が最後だったとは戦後に知ることになる。

7月1日付け、大竹潜水学校勤務の命令。いよいよ来るべき時が来た。人間魚雷の特攻隊員としての訓練が始まるのだ。この時を境に家へのハガキも

ピタッと止まっている。観念したものと思う。

戦局厳しく空襲を避け、広島よりの大野地区へ疎開し、艦隊兵器の訓練中、

8月6日午前8時15分ピカッと視界が真っ青、何かと顔を上げた瞬間、ドカンと大音響、いんいんと廻りへこだまして鳴り止まず。続いて広島方面の空は、

防通校へ入学して2カ月、14歳の今村さんが山口県から父の子さんに送った4 通目のハガキ。このほかにも両親の持病を思いやってのハガキ、弟に予科練へ志願して2人で国に奉公となれば一家の名誉この上もなしと勧めたハガキ、家へ50円くらい仕送りしたハガキもある。

真っ黒な煙で覆われはじめた。これが原子爆弾だったのだ。翌日から体の至る所が赤紫にただれ、焦げた衣服が体に張り付いたむごたらしい被爆者が炎天下、たかる蝿を追い払う力も無く、重なるように荷車に積み込まれ運ばれて来る有様となった。世界初、人類最悪の原子爆弾により広島は、壊滅的な被害を受け、続いて長崎へと、死傷者20万にも達するという未曾有の被害となった。かくして日本は、ポツダム宣言受諾のやむなきに至るのであった。今まで張りつめていた我が身、いっぺんに力が抜けてしまった。

9月、無蓋の貨物復員列車に乗せられ広島まで来て、しばらく停車。駅の面影は無く、逆様で真っ赤に錆びた客車らしき残骸、あたり一面は焼け野原、三方の山は真夏だというのに赤黒く変色し全く死の世界だ。程遠くないところからもやもやと異様な煙が立ち上がっている。誰とも無く言う、「あれは死人を焼いているんだ」と。今、往時を振り返ってみる時、あの忌わしい戦争は何だったのか。

防通校を分隊(150人)中、1番の成績で卒業された15歳の今村さん。手にしている額は成績が優秀であったことを表彰する賞状。

明治以来の日本は、富国強兵、神国日本の教育のもと、若者を戦争に駆り立て、大東亜共栄圏確立の美名に隠れ、アジア諸国を侵略した。何も知らないとは言え我々も結果的にその片棒を担いで、あの戦争に参加し侵略行為に加担したのだった。

今に至り真一文字に突き進んだ自分を深く反省しているところである。歴史は繰り返すと言うが、二度とあのような過ちを起こさないためにも、戦争の実態や体験を子どもや孫たちに語り聞かせ、平和でアジア近隣諸国からも親しまれる日本となって、その姿が長く続いていくよう心から願って止まないものである。

宮下きよ子さんの戦後70年

■幼い頃に戦争が始まり…

「私の実家は駒ヶ根市切石（現在の駒ヶ根インター付近）にありました。父は5歳の時に亡くなり、母が農業をして4人の兄弟を育ててくれました。母は他の家の農作業も手伝っていたので、幼い頃は寂しい思いをしました。戦争へ行った一番上の兄とは10歳以上離れていたので、兄は私をとてもかわいがってくれました。兄が戦争から帰って来た時は本当にうれしかったです。

手記のとおり、戦争中は食べるものがなく、二毛作で作った麦をご飯として食べたり、うどんにしたりして食べていました。学校から帰ると母がうどんを作ってくれて、それがすごくおいしかったことを想い出します。街の方の人が切石まで上ってきて、家の周りの田んぼや土手で食べられる草をとっていましたから、どの家も食べるものがなかったのでしょうね。食糧難の時代を生きた者には今の人たちが食べ物を残したり、すぐに捨てたりすることが悲しいですね。戦争中は想像もつかないほど、大変な暮らしでしたから」

お手玉を楽しむ宮下さん

■終戦からの70年間

「私は40年ほど前から舞踊をやっていて、地域の催しや福祉施設で披露してきました。老人施設の慰問では、自分よりも大きい人と戦争の話をすると熱が入って涙することもあります。戦争体験者が高齢になってきて貴重な話が聞けなくなるのは寂しいことですね。

数年前に足の手術をした時、三度の食事よりも好きな舞踊が踊れなくなって気持ちが沈みました。でも、お手玉と出会ったことで、また楽しい人生が送れるようになりました。今ではお手玉が生きがいになっています。私はみんなから「いい人生を送っているね」と言われます。幼い頃に寂しい思いをしたから賑やかで楽しい人生を送りたいと思っています。こんな私を見て「きよ子さんは、飯島の華だね」と言ってくれる人もいるんですよ。嬉しいですね。

戦争という悲しい時代が、私の人生の礎となり、今の幸せな生活に導いてくれたのだと思います。私はいつまでも「飯島の華」でいますよー!!」

今村茂義さんの戦後70年

■戦争に参加した体験

「手記にも書きましたが、私が海軍を志願したのは〝軍艦に乗って7つの海を駆け巡り、世界を回る〟という野望からでした。世界を見ることもできない子どもが自ら志願して軍隊に入り、お国のために尽くしたいと思っていたのですから、世相とは言え、今では考えられないことです。私は従軍中、もしかしたら死んだかもしれないというような事に3回遭いました。同期と一緒に貨車に巻き込まれそうになったこと、艦船勤務申し出たが、より安全な教員補（内地）勤務を命じられてしまったこと、広島へ救助に行っておれば、あわや、残留被爆で…。私が今、長く生きられて戦争について語っていることは運命かなと思うとともに、犠牲になった戦友のご冥福を祈らずにはいられません。

■戦後70年の生活について

「終戦後、浪人生活をを経て昭和25年に技術職として電気通信省に就職しました。以後、電電公社から現ＮＴＴに至るまで37年間を勤め、27年前に退職しました。退職後はオリンピックボランティアがきっかけで、毎日英語の勉強もして、海軍志願の野望を実現すべく、妻と一緒に海外旅行30回以上。また、毎月の古文書クラブについて廻りながら町の歴史を勉強するなど元気な日々を過ごしています。畑仕事が日課で、量は少ないですが50種類以上の野菜を作り、親戚や子ども、孫たちに無農薬の野菜を送ることが楽しみです」

大好きな畑仕事に励む今村さん

■終戦から70年…今思うこと

「70年前、国の施策と言って無謀な戦争をやってしまった日本が、今度は地球のあらゆる所で戦争に加担し、参戦できる国になろうとしています。戦後70年という節目の年に、子どもや孫たちがあの悲惨な戦争にまた遭うのではと心配する時がやって来てしまいました。人間の戦争は、とことんまで殺し合い、民間人もたくさん犠牲にする最悪の行為です。私が願うのは、国家間の外交を第一にして国連を盛り上げ、平和な国際社会を築いてもらうことです。戦争の実態を後世に伝え、二度と過ちを繰り返すことのないよう、恒久平和を心から念願しております」

皆さんの暮らしにもっと町の情報 **おしらせワイド**

防災

8月30日(日)は町の地震総合防災訓練を行います

総務課危機管理係　内線219

近い将来発生が予想される巨大地震に備えるため、町では8月30日（日）、自主防災会を中心として全町民対象の防災訓練を行います。地域が中心となり、安全な避難・安否の確認・被害情報の収集などを、関係機関と連携して実施します。地域内の連帯を強め、万が一の地震に備えましょう。

各家庭でも地震に対する備えの確認や、災害発生時の行動や連絡方法などを話し合い、防災意識を高めましょう。

訓練のタイムスケジュール

時　間	訓練想定・内容	概　要
午前5：20	東海地震注意情報の発表	地震観測データの異常
5：35	東海地震「警戒宣言」発令	総理大臣が警戒宣言
6：00	東海地震発生 ～訓練実施～	区、耕地・自治会の指定集合場所へ避難開始
6：10	自主防災会による訓練、町対策本部での訓練	区、耕地・自治会の計画した訓練の実施
8：00	訓練終了	

昨年の救命訓練（飯島区）

昨年実施した救護テントの設営

今年の訓練新しい試み

■緊急速報メール（エリアメール）の配信訓練を行います。

ＮＴＴドコモ、ＫＤＤＩ（ａｕ）、ソフトバンクモバイルの携帯電話をお持ちの方で、飯島町内に居る方はもちろん、通勤や旅行で飯島町を訪れている方も受信することができる、有効な情報伝達手段です。早朝より携帯電話に訓練メールが送られ、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

■防災のガイドブックを使い、各家庭で防災会議を開きましょう。

防災のガイドブックを配布します。日頃の備え、各災害対策、避難勧告の発令基準等、命を守るための知識や技術が詰まっています。各家庭で目を通していただき、防災についての意識を高めましょう。

■白色タオルで安否確認ができる訓練をしましょう。

家族の無事が一目でわかるように、玄関先などに、白色のタオルを結びつけてから避難場所へ避難しましょう。どの家庭でも白いタオルや手ぬぐいはあると思います。玄関先などの目立つ所へ結び付けるだけで、家族の無事を確認するだけでなく、安否確認を速やかに行うことができ、救出・救助活動もスムーズに行うことができます。

今年も区、耕地・自治会ごとに実施します。訓練当日の集合場所（避難場所）や訓練内容につきましては、各耕地・自治会長へお尋ねください。災害が発生した時、地域で助け合い自主的な行動ができるように、地域で行う訓練に積極的に参加しましょう。

給付金

臨時福祉給付金の支給申請が9月14日から始まります

健康福祉課地域福祉係　内線175・177

昨年の消費税率引き上げによる影響を緩和するため、今年度も所得の少ない方に給付金が支給されます。給付対象見込となる方には、9月上旬に申請書を同封した通知をお送りします。給付条件をご確認いただき、対象となる場合は期間内に申請してください。

なお、給付を装った「詐欺」にご注意ください。

★給付対象者

次の条件**全てに該当**される方

①平成27年1月1日現在、飯島町に住民登録のある方（1月2日以降に転入された方は前住所地へ申請してください。）

②平成27年度の町県民税（均等割）が課税されていない方

③税法上（給与の年末調整や税金の申告上）どなたかの扶養親族となっている場合は、扶養義務者（町外在住も含む）の平成27年度町県民税（均等割）が課税されていないこと

④生活保護制度などによる保護を受けていない方

★給付額

1人につき6，000円

★申請期間

平成27年9月14日（月）から平成27年12月28日（月）まで

★申請方法

申請書を記入し、必要書類を添付して提出してください。

★申請書提出場所

役場健康福祉課

★給付の方法

申請書の内容を審査し、給付対象となる方には、指定された金融機関の口座へ入金します。

暮らし

「暮らしの便利帳」を発行しました

総務課文書情報係　内線216

町の行政サービスや各種手続き、医療機関や公営施設の情報などを掲載した冊子「飯島町暮らしの便利帳」を7月に発行しました。発行にあたり、有料広告の掲載にご協力いただきました事業所・団体のみなさま、ありがとうございました。

1世帯に1冊を7月の広報と一緒にお配りしましたので、身近な所に置いていただき、日々の暮らしにご活用ください。

表紙のしおりごとに17項目の情報を掲載

なお、耕地・自治会を通じてお届けできないご家庭につきましては、無償でお渡ししますので、役場窓口でお受け取りください。

■内容

町の概要、各種制度や届出、防災、税金、福祉、健康、医療、子育て支援、暮らしの情報、公営施設一覧、観光情報、テレフォンガイド　ほか

まちかどトピックス

7月の出来事

町の婚活イベントから成婚・定住カップル誕生♥

町が重点プロジェクトとして取り組む、出会い・婚活事業から初めての成婚者が誕生しました。7月7日に婚姻届を提出したのは、小林雄一さん(岩間)と東京都出身の加藤史子さんです。お二人は昨年6月に開催した婚活イベントで出会い、1年の交際を経て入籍されました。

宮澤結婚相談員(左)と出会い創出担当の木村(右)が祝福

7月27日に役場で「成婚・定住祝金」の贈呈式が行われ、お二人は「笑いの絶えない明るい家庭を築いていきたい」と笑顔で話されました。

町では、昨年から「出会いサポートデスク」を設置し、婚活イベントや結婚相談など様々な取り組みを行っています。イベントへの参加者は延べ264人(男性145人、女性119人)で、うちカップルの成立は29組でした。七夕に誕生した小林さんご夫婦の末永いお幸せをお祈りします。

高坂町長からお二人に祝金が手渡された

飯島陣屋に泊まって江戸時代の暮らしを体験!!

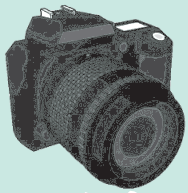
7月11日から12日にかけて歴史民俗資料館飯島陣屋で、子どもたちが150年前の暮らしを体験しました。小学2年生から中学1年生までの13人が参加し、かまどを使った食事作りや川での魚獲り、ホタルの観察などを行い、大広間に宿泊して電気の無い夜を過ごしました。学年を越えて協力した夕食作りでは、山椒みその五平餅と川魚の塩焼き、野菜のみそ汁が完成し、囲炉裏を囲んで味わいました。

火打ち石で種火を作ることに成功!

初めて参加した小学2年生の3人は、「もう一日泊まりたかった」「かまどで炊いたご飯がおいしかった」「ホタルが見られてよかった」と感想を聞かせてくれました。

魚を焼く高学年

なかなか寝ない女の子たち…



まちトピプラス

7月5日、第65回社会を明るくする運動・青少年健全育成伊南地区推進研修会が文化館で開催され、作文発表（写真は宮嶋りんさん・飯島中1年）や講演会が行われました。およそ250人が参加し、犯罪や非行のない地域づくりを考えました。

7月14日、国道153号伊南バイパスの田切交差点に建設される、道の駅田切の里（仮称）の安全祈願祭と起工式が行われました。地元住民や関係者およそ80人が出席し、工事の安全を祈りました。完成は来年7月の予定です。

7月20日、山に親しみ感謝する催し、信州いいじま山の日「傘山トレッキング」が行われ、小学生から78歳までの51人が参加しました。この日は天候に恵まれ、自然観察や山の成り立ちを学びながらゆっくりと山頂を目指しました。

交通事故と犯罪のない町へ 町民大会で新たな決意を

交通事故の撲滅と犯罪防止を目指して、町が3年ごとに開催している「安全で安心なまちづくり町民大会」が7月18日に開催されました。予定していた飯島駅前から文化館までのパレードは、台風の影響で中止となりましたが、式典が文化館で行われ、およそ400人が参加しました。

式典では、飯島中学校吹奏楽部の演奏や児童生徒による作文発表、防犯ビデオの上映、飯田ＯＩＤＥ長姫高校生によるヒーローショーが行われ、最後に大会宣言を確認しました。

交通安全についての作文を発表した飯島小学校6年の武田浩行さんは、車と接触した時の怖い体験を交え、「死んだら終わり、命は1つしかないので交通安全を守りましょう」と呼びかけました。町では、7月3日に交通死亡事故ゼロ700日を達成し、1000日を目指しています。

作文を発表した、左から武田浩行さん（飯島小6年）、茂野七海さん（七久保小6年）、窪田璃久さん（飯島中3年）

行燈のあかりの中で昔の市を再現 第22回お陣屋あんどん市

夏の風物詩「お陣屋あんどん市」が7月25日、広小路で開催されました。代官行列が午後2時30分の開門を告げると、会場内に作られた13の店が市を開き、大勢の来場者で賑わいました。

湯澤かよこさんも代官行列に参加

今年は、お陣屋太鼓や大型時代劇に加え、飯島中学校美術部による、まちおこしソング＆ダンスの披露や、伊那市出身でシンガー・ソングライターの湯澤かよこさんによるコンサートが行われました。コンサートでは、七久保小学校6年生もステージに上がり会場を盛り上げました。薄暗くなり始めた頃には行燈にあかりが灯り、幻想的な雰囲気に包まれました。

中学校の美術部員によるまちおこしソング＆ダンス

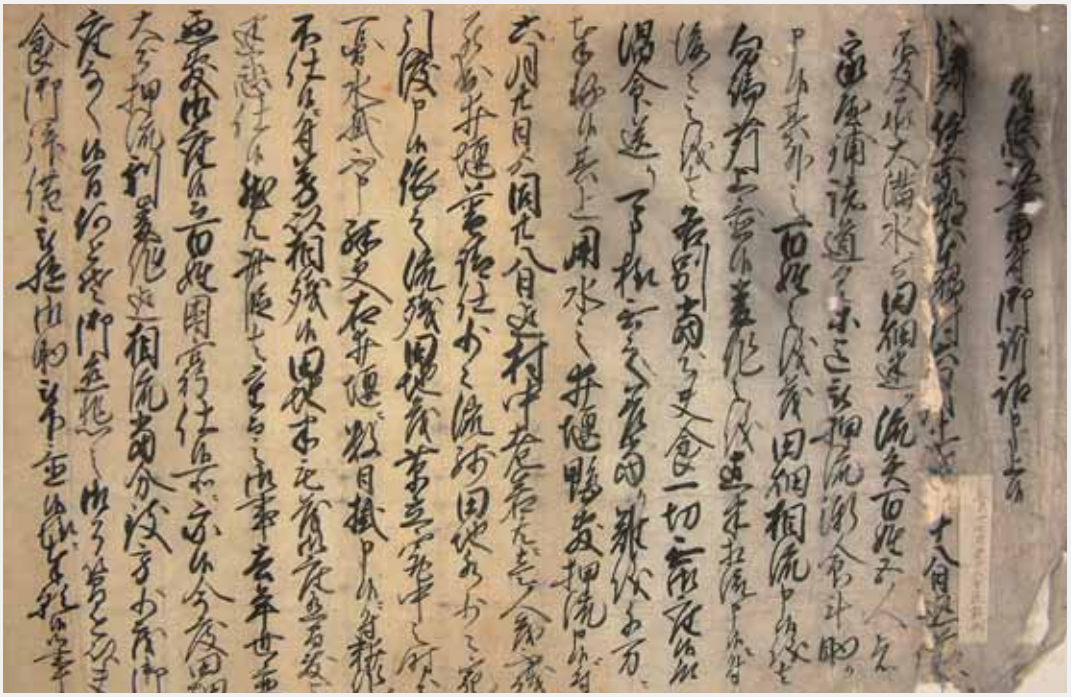
お役所に宛てた夫食（食料）拝借の願い書きの古文書から当時を回想!!

古文書クラブが300年前の大水害「未満水」を読む

7月16日、文化館で飯島陣屋主催の古文書クラブが開かれ、正徳5年（1715年）未年に起きた水害「未満水」について書かれた古文書（下の写真）を読み、回想しました。

この水害は、昭和36年に伊那谷を襲った三六災害と同じか、それを超えるほどの水害と言われています。江戸時代における町の水害を調べると、「未満水」のような特大洪水が5回、大洪水が25回、小洪水が74回で、平均すると2～3年に1度は水害に見舞われていました。

本郷区が所蔵する古文書によると、この水害は江戸時代、旧暦の6月17日から18日にかけて起きたもので、今の暦になおすと今年は7月17日にあたり、ちょうど300年目を迎えました。与田切川の氾濫により、本郷村で家屋や田畑が流出したと書かれていますが、中田切川の洪水により田切の聖徳寺が流出したとも伝えられています。また、南駒ケ岳の摺鉢窪カールに迫る、百間ナギの大崩落も「未満水」のときに始まったと言われています。



「未満水」を読む古文書クラブ

大要

恐れながら書き付けを以て御訴詔申し上げ候

信州伊那郡本郷村は6月17日より翌18日まで、前代にかつて聞いたこともない大満水に遭い、田畑をことごとく流出した。中でも、百姓5人の者は家屋敷・諸道具等まで押し流され、ようやく命だけは助かることができた。その外の百姓も田畑を流され、その上、刈り上げておいた麦まで大半流されてしまい、当分食べ物が一切無くなり、命をつなぐ手だてもない有様である。その上、かんがい用水の井堰をほとんど押し流されたため、6月20日より同28日まで老若共に村中一人残らず出て、井堰普請に当たり、わずか流出をまぬかれた田地に少しずつ水を引くことができた。こうした状況ゆえ、流れ残った田地も、草立ち最中に満足に水が掛からず、また、井堰の修復に数日を費やしたため、その間耕作が手につかず、残った田地はおそらく半作にもならないであろう。

ただでさえ近年は世並みが悪く百姓が困窮しているのに、田畑の大部分が押し流され、あまつさえ、麦作まで流されては途方に暮れるばかりである。何とぞ、御慈悲を以て夫食を御拝借願いたい。

３００年前の「未満水」を今に伝えるものに、本郷第六耕地に建つ「隅之木碑」があります。この碑は、「未満水」の際に、鉄砲水から村人を守ったと言われる栗の木があった場所に建てられています。碑には漢文体で、栗の木に身を寄せて難を逃れた様子が刻まれています。周囲６メートルもの大木だった栗の木が、大正の頃に枯れてしまったため、村人を救ってくれた栗の木への感謝と、大水害の歴史を後世へ伝えるため、子孫で地主である米山久治さんが、昭和４年に記念碑として建てたそうです。

伊南バイパスの与田切大橋から西を望むと、与田切川の氾濫が広範囲におよんだことがわかります。

この「隅之木碑（すみのきのひ）」は未曾有の大水害から３００年目の今年２月、国土交通省天竜川上流河川事務所の「人と暮らしの伊那谷遺産プロジェクト」において、１０１件目の伊那谷遺産に選ばれました。

碑に刻まれている水害の様子は、昔話としても語り継がれています。

飯島町郷土研究会が平成20年に発行した「ふるさとの昔話 第二集」には、「未満水」の昔話が３話収められています。

この本には昔話が 57 話収められています。字が大きく読みやすい本です。

未満水には、「命を救った栗の木」「流された大島」「未満水と聖徳寺」の３つの話が書かれています。
（写真は天竜川の中州にあった大島と呼ばれる島の様子を書いたもの）

この本は、飯島町図書館で貸し出しを行っています。この機会に、町の歴史を読んでみてはいかがでしょうか。

飯島町図書館
館長　米山明廣さん

「隅之木碑」を建てた米山久治さんの孫にあたる米山明廣さん（親町）は、「未満水」を町の大切な歴史として後世に語り継いでいます。

飯島町図書館長でもある米山さんにお話をお聞きしました。

「小さい頃から、「隅之木碑」の話は祖母や父から聞いてきました。鉄砲水から人々を守ったのは栗の木なのに、なぜ「隅の木」と呼んだのか不思議でした。どうも、栗の木があった場所がこのあたりの集落または我が家の土地の〝隅っこ〟だったからのようです。おもしろいですね。かつては、碑が建っている国道１５３号の南側までが与田切川の氾濫原だったようです。昔は桑畑でしたが、昭和30年代に米の増産で水田になったことを覚えています。「隅の木」は大正時代に朽ちたと聞いています。江戸時代から生えていた木なので、大正の頃には３００年以上は経っていたのではないでしょうか。「隅之木碑」は、その土地にあったと思われる大きな自然石を半分に割って作られています。たび重なる与田切川の氾濫で流れ着いた石だったのかもしれませんね。石碑の片割れは、我が家の庭で石のテーブルになっています。

それにしても、水害から３００年という節目の年に、祖父が建てた「隅之木碑」が伊那谷遺産に選ばれたことに驚いていますし嬉しいことです。３００年前のこの地の人々の苦難やその教訓を、後世に伝えようとした先祖の思いを、引き継いでいきたいと思います」

国道153号伊南バイパス整備事業に貢献

高坂宗昭町長へ「国土交通省中部地方整備局長表彰」

7月16日、国道153号伊南バイパス建設事業の促進に寄与した功績で、高坂宗昭町長に国土交通省中部地方整備局長から感謝状が贈られました。名古屋市内で行われた表彰式に出席した高坂町長は、「思いがけない表彰をいただき、驚いております。特別なことをしてきた訳ではありませんが、懸案の国道153号伊南バイパスの建設促進や、新たな道の駅田切の里（仮称）が国の重点道の駅に認定されたことなど、多くの町民のみなさんのご理解とご協力により事業を進めることができた結果だと思います。関係のみなさんに深く感謝しております」と話されました。

国の直轄権限代行事業である国道153号伊南バイパス建設工事は、平成30年度の全線開通に向け進められています。また、沿線では道の駅の機能をもつ拠点施設の建設も始まるなど、伊南バイパスの整備促進による町の活性化が期待されています。

工事が進む伊南バイパス

小・中学校の英語指導助手

ケイティ先生 さようなら、お元気で

英語指導助手（ＡＥＴ）として、平成24年8月から小・中学校で英語を教えていただいた、キャサリン・ライチェック先生（ケイティ先生と呼ばれています）が、7月末で任期を終えられました。

飯島町で過ごされた3年間について、お話をお聞きしました。

Q. 一番の思い出は？

A. 初めて見た梅戸神社の秋祭りの花火が素晴らしかったことです。打ち上げているところがとても近いことにも驚きました。アメリカでは、こんなに近い所で花火を見ることはなかったので感動しました。

Q. 好きになったこと（物）は？

A. カラオケです。町内のカラオケスナックへよく行きました。それと「焼き芋」かな～。

Q. やり残したことは？

A. 飯島町から見える山に登りたかったです。日本に来てからは体調を崩すことが多く、自然を楽しむ活動があまりできなかったことが残念です。

Q. 町のみなさんへひとこと

A. みんな優しくて、本物の家族みたいに、「お帰りなさい」と声をかけてくれました。たくさんの人たちと出会えたことは私の一生の宝物です。、またいつか帰って来ます!!

いいスポ

いいちゃんスポーツニュース

町内の大会結果

■第21回ソフトバレーボール大会
（7月5日、七久保小学校体育館）
◇1部　優　勝　飯島倶楽部
　準優勝　チアフルA
　3　位　鳥居原プレジャー
◇2部　優　勝　チアフルB
　準優勝　豊岡B
　3　位　豊岡A

■2015親子サッカーフェスティバル
（7月11日、柏木運動場）
子どもおよそ50人とその保護者が参加し、交流を深めました。

■第14回一般バレーボール大会
（7月19日、飯島・中学校体育館）
◇男子の部　優　勝　飯島倶楽部Z
　準優勝　しんきん
　3　位　小桜会
◇女子の部　優　勝　飯島倶楽部C
　準優勝　夢クラブOG
　3　位　どんぐりモロモロ
　　　　POO!!

海洋性スポーツ体験会

7月19日(日)、千人塚公園城ヶ池にて、海洋性スポーツ体験会が行われました。今年は約70人と多くの方が参加し、ヨットやカヌーなどの海洋性スポーツを体験しました。

ヨット、カヌーを楽しむ参加者

スポーツ研修会

7月26日(日)、本郷体育館で飯島町スポーツ連絡協議会主催の「スポーツ研修会」が行われ、子どもから大人までのおよそ30人が参加しました。昨年に引き続き小林新一先生を講師に、「動ける体をつくるファンクショナルトレーニング～機能的で怪我をしにくい身体をつくる～」と題して、実技を交えながら機能的な動きを学びました。参加者からは「年に数回やってほしい」や「次回もお願いしたい」といった声が聞かれるほど大好評でした。

全国大会出場!!

■ソフトボール
8月8日～12日に行われた全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技に、伊那弥生ヶ丘高等学校男子ソフトボール部の片桐崇寿さん(高遠原)が出場しました。

■ビーチバレー
8月6日～9日に行われた2015マドンナカップin伊予市ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会に、辰野高校の吉岡真苗さん(親町)が出場しました。

飯島中学校ソフトテニス部 県総合体育大会3連覇!!

7月19日に行われた長野県総合体育大会で、飯島中学校ソフトテニス部が団体戦で優勝し、3連覇を達成しました。

また、個人戦でも優勝・準優勝を果たしました。

●優勝　　堀越・桃澤ペア
●準優勝　森脇・山田ペア

団体・個人ともに、8月4日～5日に開催された北信越大会に出場しました。

県大会の個人戦決勝

部長の森脇葵さん(3年)は、「県大会では、プレッシャーで泣いてしまう選手もいましたが、部員全員で励まして優勝することができました。みんなでつかみ取った3連覇です！」と県大会を振り返りました。北信越大会では惜しくも敗れましたが、すばらしい成績を残しました。

クラスの紹介「笑顔」

紹介者　七久保小学校5年
金子　詞音

私たちのクラスは、一番人数が少なく、15名しかいませんが、一番元気で笑顔が絶えないクラスです。

私たちは3年生から、なごみの家のおじいさん・おばあさんと交流しています。おじいさん・おばあさんとのお話を大事にしたり、認知症の方の応えん団になったり、なごみ祭りに参加したりしてきました。そこから私たちは、あったかい気持ちをもらって、おたがいが笑顔ですごすことの大切さを学びました。これから先もなごみ家の方々と交流し、おたがいが笑顔になれる空間を作りたいです。

夢中・熱中の輪・和・WA

1日としょかんいん♬

7月29日と30日、飯島町図書館で、小学生が図書館の仕事を体験する「1日としょかんいん」が行われ、町内の小学5・6年生5人が参加しました。

カウンターで図書の貸出と返却の受付

図書館職員と読み聞かせの絵本選び

絵本の読み聞かせの練習

破れた本の修理

書庫で蔵書の整理

ひまわりっこ

プリキュアの
キュアダイヤモンド

かしゆ

プリキュアの
キュアトゥインクル

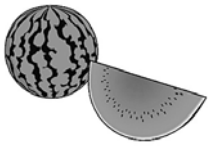
ニンニンジャーの
きいニンジャー

アイドル

せんしゃどう

飯島保育園の年長さんたち

「大きくなったら
何になりたい？」



先生の横顔

飯島小学校
2年1組担任(理科)
田中 亜季 先生

今年4月、下諏訪中学校から飯島小学校へ。
宮田村出身、駒ヶ根市在住。

Q. 趣味・特技は？
A. 茶道

Q. モットーは？
A. 笑顔

Q. 好きな食べ物は？
A. オムライス 「フワトロがおいしいから」

Q. 町や学校の印象は？
A. みんな優しくて、あたたかい

Q. 最近、嬉しかったことは？
A. 子どもたちが助け合っている姿を見たこと

Q. 今はまっていることは？
A. ドライフルーツ

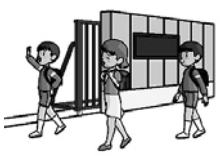
Q. 夢・目標は？
A. 信頼される、あたたかい先生になりたい、
世界一周旅行がしたい

Q. 飯島町のみなさんへ一言！
A. 子どもたちのために、精一杯頑張りたいと思います。
よろしくお願いします。

こんな町になったらいいな！

飯島中学校1年2組　斎藤 恵

私は飯島町があいさつがあふれる町になったらいいなと思います。人とすれちがう時にあいさつをすると、少しいい事をした気分になれます。でも、あいさつをしないと少し暗い気持ちになります。私自身、あいさつをするのは得意ではありません。自分からあいさつをして、あいさつが返ってこなかったらということを考えると、あいさつをするのをためらってしまうのです。なので、私があいさつをするのは、人があいさつをした後なのです。でも、あいさつがあふれる町になれば私のようにあいさつが苦手な人でも、自分からあいさつができるようになると思うし、地域の絆も深まると思うので、飯島町があいさつであふれる町になったらいいなと思いました。



平成27年度 飯島町青少年育成協議会表彰

この表彰は、青少年健全育成のため5年以上活動した個人や団体のうち、指導者として功績のあった方、活動が模範となる方々を表彰するものです。

5月29日に文化館で行われた飯島町青少年育成協議会総会で、次の方々が表彰を受けられました。

久保田　省吾　様（追引）
伊藤　鑑　様（荒田）
宮下　美香　様（北村）
髙島　恵子　様（新屋敷）
上原　一恵　様（荒田）

みんなの図書館

9月（長月）

9月のテーマ

①敬老の日読書のすすめ

読書推進運動協議会が推薦する『敬老の日読書のすすめ』で選定された本を展示します。

②秋を楽しむ

～芸術・スポーツ・学びの秋～

郷土の芸術家・作家・研究者の作品や、地域で盛んなスポーツの資料なども用意しました。

お知らせ

■システム更新のため休館します

9月7日(月)から18日(金)までの間、休館させていただきます。8月25日(火)から長期休館前の15冊貸出をはじめます。ご利用ください。

スケジュール

◆絵本とあそぶつどい とき：9月6日(日) 午前10:30～ ところ：図書館こどものひろば
◆おはなしの森 とき：9月26日(土) 午前10:30～ ところ：図書館こどものひろば
長期休館前の15冊貸出 8月25日(火)～9月6日(日)
【9月の休館日】 1日、7日～18日、24日、25日 28日、30日

■図書館協議会委員おすすめ本

7月10日(金)に第1回飯島町図書館協議会が開催され、委員さんからおすすめの本を紹介していただきました。今回は子育てサークルママポケットから選出された委員さんのおすすめ本を紹介します。

「発達障害の子どもを伸ばす魔法の言葉かけ」…タイトルから障害児の本と思われがちですが、育児書の棚に置いてほしい本です。「いいじま町DEいい出会い」コーナーに置きます。

いい本発見 新着本情報

「黒板絵は残った　熊谷元一」　日本で初めて黒板を開放した小学校教師の、子どもたちの作品に寄せる温かな眼差しを、教え子が写真集にまとめました。

「食べる・飲むメカニズム」　生命の維持に欠かせない食べることと飲むことですが、サポートが必要な高齢者や、うまく食べられない子どももいます。そのメカニズムをわかりやすく解説しています。

「日本の産業遺産図鑑」　明治日本の産業革命遺産が世界遺産に登録されました。ものづくり日本を支えた全国の遺産がカラー写真とともに、地方ごとに紹介されています。

文芸の窓

短歌

青嵐稲田の間にそのままに
耕さざる農地そこここにあり
市村通泰

我が国は未曽有の災害で
復旧優先約束守る
上山儀一

歩行器押し畑まで来て鍬に替え
除草の後の葱に土寄す
紫芝春夫

ひたひたと波音立ててゆく舟は
あやめの里の水郷めぐり
上前　守

新緑に学舎整備の声響く
若き父母らが汗を流して
鳳来山人

俳句

山あいに白雲浮かぶ梅雨晴間
森谷あや子

虫を引く役目それぞれ蟻の道
岩田茂子

風鈴の余韻のごとき命かな
中村敏子

納得のゆかない答落し文
北原果媛

雉子鳴いて峡のみどりの輝きぬ
林　公明

7月の戸籍

こんにちは赤ちゃん

小林　美琴（みこと）ちゃん（上ノ原）
正弥・佳南さん

窪田　空（そら）ちゃん（北町）
圭・友梨さん

寺島　碩子（すずこ）ちゃん（南町）
琢也・典子さん

久保田　想也（そうや）ちゃん（本郷第一）
智之・京子さん

中村　慈伸（しげのぶ）ちゃん（新田）
恵太郎・孝子さん

北川　健太（けんた）ちゃん（グリーンリーフ）
信博・百合子さん

森谷　拓（たく）ちゃん（グリーンリーフ）
大樹・香織さん

酒井　桔平（きっぺい）ちゃん（南町）
崇宏・奈美さん

ご結婚おめでとう

♡小林　雄一さん　（岩間）
　加藤　史子さん　（東京都）

♡松下　潤さん　（本郷第五）
　小松　則子さん　（松川町）

♡宮下　茂良さん　（北村）
　埋橋　愛さん　（箕輪町）

ご冥福をお祈りします

伊藤マサコさん　91歳（山久）
宮下　知恵さん　89歳（柏木）
松村浩一郎さん　55歳（親町）
宮下三兵衛さん　70歳（北村）
山口　和夫さん　88歳（親町）
杉崎　正雄さん　90歳（岩間）
米山　朋子さん　71歳（新田）
矢澤　信明さん　78歳（本郷第六）
上山はる子さん　95歳（山久）
岩村　充世さん　70歳（上通り）
安藤　文男さん　83歳（岩間）
小木曾信夫さん　77歳（上ノ原）

COLUMN

町長のひきだし

高坂宗昭 町長

町長さん、今年は戦後70年の節目ですね。

はい、今年は節目の終戦記念日を迎え、改めて戦争の恐ろしさを噛みしめる年となりました。この意義ある年に国は、憲法の解釈を変更し、集団的自衛権を認める閣議決定を行いました。唯一の被爆国である日本が、再び戦争への可能性が危惧されることに、世論の80％余りが十分な説明責任と慎重審議を求めています。国はこの声を重く受け止め、日本が間違った方向へ進まないよう、党派を超えて十分な審議をしてもらいたいものです。戦争という歴史を二度と繰り返さないためにも強く願うところです。

戦争の記憶は何かありますか？

私は小さかったので、直接の体験はありませんが、父が岡崎航空隊に2年ほど奉職していたようです。私が2歳の頃、戦争が終わり父が軍服姿で無事自宅へ帰ってきて、玄関の上がり端（はな）で「元気でいたか」と抱き上げてくれた事は今でも覚えています。

記憶といえば…町長さん、「未満水（ひつじまんすい）」って知っていますか？

知っていますよ。飯島・本郷・田切と広い範囲で大きな被害が出たという江戸時代の大水害ですね。その年が今年と同じ未年（ひつじどし）だったことから、ちょうど300年の節目の今年、水害に対する警鐘が鳴らされているという話です。その時は、天竜峡で天竜川がせき止められて、上伊那の方まで水害が及んだとも聞いています。本郷には当時の様子が碑として残されているようですね。今年は比較的平穏な梅雨でしたが、これからは台風の季節になりますので、防災意識をしっかり持って生活をしたいものです。

ところで町長さん。今年も代官の衣装がお似合いでしたよ～!!

天気が良くて何よりでしたが、とにかく暑くてね。妻の気遣いで、頭にドライアイスをのせて陣笠をかぶる戦略で何とかもちこたえられました。妻には感謝です。（ハハハ♡）

今年のあんどん市は子どもたちが多く参加していて、とても賑やかな催しになりました。実行委員会のみなさんのご苦労に感謝いたします。

代官行列のみなさん。中央が高坂宗昭代官、町長の右側は伊那市出身のシンガー・ソングライター湯澤かよこさん

「いいちゃんプレミアム商品券」の使用期限は８月31日（月）までです！

緑の募金実績報告とお礼

みなさんにご協力いただきました緑の募金運動は、総額53万2，072円となりました。皆様からの善意は、（財）緑の基金へ送金され、森林の整備や緑化の推進、緑を通じた国際協力に活用されます。また、飯島町にも募金の一部が還付され、小中学生などが行う緑化推進事業の資金として活用しています。飯島町の大切な自然を守るために、今後もご協力をお願いします。

■お問合せ
産業振興課耕地林務係　内線108

自家用井戸水水質検査の実施

検査申し込みは希望者本人が直接申し込む方法です。希望される場合は期限内にお申し込みください。

■検査項目
飲用可・不可の判定（11項目）

■申込み・容器配布期間
9月1日（火）～10日（木）
※休日も宿直で受付します

■申込み先
住民税務課窓口

■井戸水提出日
9月15日（火）

■検査料金
7，020円（税込）
後日、納付書による振込になります。
（振込手数料がかかります）

■お問合せ
住民税務課生活環境係　内線157

更生保護活動への賛助募金のお願い

犯罪や非行に陥り処分を受けた人の立ち直りを支援し、地域の犯罪・非行の予防を図る更生保護活動は、保護司をはじめ民間ボランティアで行われています。町では毎年、耕地・自治会を通じて更生保護活動に対する賛助金をお願いしています。本年度も1戸100円を目標に取りまとめを行いますのでご協力をお願いします。耕地・自治会に加入されていない方につきましては、役場住民係窓口で受け付けます。

■お問合せ
住民税務課住民係　内線158

取引・証明用に使用する「はかり」の定期検査

商品の売買に使用したり、各種の証明行為に使用する「はかり」は、2年に1回の定期検査を受ける必要があります。次の日程で検査を実施しますので、「はかり」を持参し、必ず検査を受けてください。「はかり」に付着した粉、水分、ほこりを落として持参してください。なお、検査には手数料が必要です。詳しくはお問い合わせください。

■日時
9月7日（月）
午前10時30分～正午
午後1時～3時

■場所
飯島町役場　正面玄関南

■持ち物
はかり、検査手数料

■お問合せ
産業振興課商工観光係　内線104

「救急安心カード」を作りましょう

「救急安心カード」とは、氏名、生年月日、血液型、持病、かかりつけの病院、緊急連絡先などを記入しておくカードです。このカードを携帯することで、緊急時に救急隊や医療関係者などが必要な情報を得ることができ、迅速に対応することができます。カードへの記入や利用はあくまでも任意で、内容は個人情報ですので管理には十分注意してください。

■カードの台紙
①地域福祉係窓口で受け取る
②町ホームページ（http://www.town.iijima.lg.jp/）からダウンロード

健康福祉課地域福祉係　内線175

町民と町長のほっと懇談会
9月の開催日
総務課文書情報係　内線215

9月は公務の都合により定例開催日は設けません。
個別で対応しますので、担当までご相談ください。
場所：町長室

8月1日現在の
下水道つなぎ込み率
建設水道課水道係　内線131

公共下水道飯島地区…74.8%↑／公共下水道七久保地区…74.6%↑／農業集落排水七久保北部地区…89.4%→／農業集落排水田切南部地区…88.8%→／農業集落排水本郷東部地区…86.0%→／合併浄化槽地区…78.8%↑／合計…78.6%↑

広域農道の屋外広告物を架けかえ・新規設置の方へ

上伊那地域景観協議会では、「おもてなしの景観づくり」に向け、上伊那を縦断する広域農道をモデルルートに、統一的な屋外広告物（看板）のデザインと設置に取り組んでいます。看板は、土・大地をイメージした濃い茶色を基調としたシンプルなデザインです。伊那谷の景観に配慮した看板を普及していくためにも、これから看板の架けかえや新規設置を考えている方はご相談ください。

■お問合せ　建設水道課調査計画係　内線145

男女共同参画 マンガ

何げないコトバ

© 段　丹映子　無断転載禁止
（「ちいさなジェンダー」ほおずき書籍刊）

催しイベント

わくわく消防パーク

子どもさんと一緒にお出かけください。

■日時　9月5日（土）午前10時～正午
■場所　伊南　南消防署
■内容
・消防車の乗車体験
・防火衣を着ての放水体験
・ちびっこレスキュー体験
■お問合せ　伊南　南消防署　☎0265-89-1119

南信高校定時制生徒の生活体験発表会

南信地区の定時制高校生が、働きながら学ぶ自らの生活体験を発表します。多くの方に感動と励ましを与えてくれる発表です。みなさんのご来場をお待ちしています。

■日時　9月26日（土）午前10時～午後12時15分
■場所　文化館
■入場料　無料
■お問合わせ　赤穂高校定時制　☎0265-82-5686

南信工科短期大学校学校説明会

来年4月に開校する県南信工科短期大学校の学校説明会を開催します。「機械・生産技術科」と「電気・制御技術科」が設置されます。

■日時　9月5日（土）午後2時～4時
■場所　県伊那技術専門校（南箕輪村8304-190）
■内容
(1)学校概要
(2)設置学科のカリキュラム
(3)学生募集（入試）について
(4)校内施設の見学
■その他
・事前の申し込みは不要です
・駐車場はありますので車でお越しいただけます
・JR伊那市駅前の「伊那バスターミナル」から無料の送迎バスを運行します（午後1時30分発）
■お問合せ　長野県人材育成課　☎0265-71-5051

募集

「上手な人間関係づくり講座」受講生募集

上手な人間関係づくりや会話のコツを学びませんか。人の話を上手に聴いてあげたり、自分の話をちゃんと聴いてもらうと、ストレスは少なくなるといわれています。

■日時　10月2日（金）、19日（月）、27日（火）午後1時30分～3時30分
■場所　保健センター（役場西）
■内容　3回の講座で、心の仕組みや感情の理解、うつの起こる仕組みなどを学びます。
■講師　心理カウンセラー
■受講料　無料
■申込期限　9月25日（金）
■お申込み・お問合せ　健康福祉課保健医療係　内線199

婚活事業の続報！
10月17・18日「参加男性は飯島町の消防団員」婚活イベント開催予定！
“飯島町消防団が女性をおもてなし”　詳しくは➡
出会いサポートデスク　☎86-3111（内線224）

「大人塾」参加者募集

大人の心の健康講座（第2回）が始まります。臨床心理士と一緒にみんなで話をしながら、自分について考え、自分を元気にするための、全7回のプログラムです。

■日時（初回）
9月14日（月）
午前9時30分～11時30分

■場所
文化館　会議室2

■対象
大人の方ならどなたでも

■定員
10人程度

■費用
無料

■申込み締切
9月10日（木）

■お申込み・お問合せ
（同）夢倶楽部しらかば
信州カウンセリングセンター
☎0265-83-3753

犬のしつけ方教室　参加者募集

人と犬が仲良く共存できる地域社会を作りましょう。

■日時（初回）
9月27日（日）
午前9時～11時30分

■場所
伊那市生涯学習センター（いなっせ会議室）

■講習内容
①学科　動物に関する法律、犬の習性、健康管理 など
②実技　一緒に歩く、おすわり、伏せ、待て　など

■参加資格
・生後6ヶ月から2年以内で、狂犬病予防接種、7種以上の混合ワクチン接種及び寄生虫検査実施済みの犬
・上伊那郡内に住む方
・5日間の講習全てを受講できる方

■募集定員
10組
※定員になり次第締切

■参加費
7,500円

■申込期限
9月11日（金）

■お問合せ
伊那保健所内
動物愛護会上伊那支部
☎0265-76-6840

放送大学10月生募集

放送大学では平成27年度第2学期（10月入学）の学生を募集しています。放送大学はテレビやインターネットを通じて学ぶ通信制の大学です。心理学・福祉・経済・歴史・文学など、幅広い分野を学べます。資料は無料で差し上げますので、お問合せください。

■出願期限
9月20日（日）

■お問合せ
放送大学長野学習センター
☎0266-58-2332

相談

【町の相談】

◆**行政相談**
9月26日（土）
午前10時～正午
飯島成人大学センター
☎86-4863
相談委員　米田章一郎

◆**結婚相談**
第2・4火曜日
午後6時～9時
出会いサポートデスク・サテライト
☎090-5192-8038
相談員　宮澤郁雄
※婚活相談は平日毎日実施

◆**教育相談**
月～金曜日（中学登校日）
午前8時30分～午後3時
飯島体育館☎86-2135
相談員　久保田延幸
※電話相談も受けられます

◆**子どもに関する家庭相談**
火・木・金曜日
午前8時30分～午後5時
こども室　☎86-6711
相談員　黒田宣子

◆**健康相談・育児相談**
第2・第4火曜日
午前9時～午前11時30分
保健センター☎86-2704

◆**心の相談（予約制）**
9月4日（金）、15日（火）
午後1時～、午後3時～
相談員　心理カウンセラー
問保健医療係　内線199

◆**おしゃべりいずみの会**
「子育ての悩みを気軽に話し合いましょう」
9月25日（金）
午後7時30分～8時30分
コスモス園
相談員　主任児童委員
問地域福祉係　内線175

◆**高齢者・介護相談日**
9月4日（金）、15日（火）、25日（金）
午前9時～午後4時
高齢者福祉係・地域包括支援センター　内線196・197

【町社協の相談】

◆**心配ごと相談**
9月18日（金）
午前9時～11時
石楠花苑　☎86-5511
相談員　民生児童委員

応援・拡散　よろしくお願いします！
飯島町がＴＶ全国紹介中
イチから住 ～前職、移住しました～

移住がテーマのテレビ番組で飯島町が紹介されています。

■番組名　テレビ朝日「イチから住」
■放送時間　毎週日曜日　午後6時30分～
■放送期間　7月12日（日）～3カ月間（予定）
■出演　タレントの福井仁美さん、町のみなさん

企画政策課定住促進室　内線224

【その他の相談】

◆交通事故巡回相談(予約制)
9月3日(木)・17日(木)
午前10時～午後3時
伊那合同庁舎内交通事故相談室
☎0265-76-6803

◆こころの健康相談
平日 午前9時30分～午後4時
長野県精神保健福祉センター
☎0570-064556

◆児童虐待・DV24時間ホットライン(通報窓口)
☎026-219-2413

◆24時間いじめ相談電話
(児童生徒からのいじめ相談)
☎0570-078310

◆税金の無料相談所(予約制)
9月2日(水)
午後1時30分～3時
税理士会伊那支部
☎0265-74-8170

◆行政書士による無料相談
9月9日(水)
午後1時～4時
長野県行政書士会伊那支部
☎0265-73-2208
※事前の連絡が必要です。

◆労働者と事業主とのトラブル無料相談
平日(開庁時間内)
南信労政事務所
☎0265-76-6833

◆投資勧誘・多重債務無料相談
平日(開庁時間内)
関東財務局長野財務事務所
☎026-234-2970

寄付

次の方から、寄付がありました。ありがとうございました。

♣つれてってカード協同組合　様
児童図書購入寄附金として、図書カードを飯島小学校と七久保小学校へ各1万円

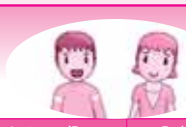
♣再び青春を謳歌する実行委員会　代表　上村清隆　様
定住促進に役立ててほしいと、金2万円

【ふるさといいじま応援寄附金】
・長田　絹子　様(山梨県)
・重政　地男　様(兵庫県)
・黒澤　和明　様(埼玉県)
・関口　正宏　様(埼玉県)
・佐野　昌史　様(山梨県)
・坂本　弘志　様(北海道)
・竹内　直行　様(宮城県)
・上村　健一　様(愛知県)
・佐藤　敬介　様(三重県)
・小林　英明　様(東京都)
・中村　守之　様(埼玉県)
・清水　知之　様(岡山県)
・中島　昌幸　様(千葉県)
・小林　誠　様(北海道)
・福田　光子　様(静岡県)
・天田　誠　様(東京都)
・三橋　裕司　様(神奈川県)
・脇田　治郎　様(愛知県)
・岡村　光徳　様(東京都)
・三輪　政弘　様(宮崎県)
・牛山英一郎　様(東京都)
・泉　宏幸　様(北海道)
・木下　美佳　様(東京都)
・飯島　秀幸　様(東京都)
・小口　茂樹　様(東京都)
・土田　博之　様(愛知県)
・坪井　弘輝　様(千葉県)
・牧　忠男　様(愛知県)
・畑　雅子　様(兵庫県)
・北原ひとみ　様(大阪府)
・林　美香　様(群馬県)
・松田　明広　様(宮城県)
・城間　秀政　様(東京都)
・長崎　寛　様(埼玉県)
・大塚　広幸　様(東京都)
・小出　武治　様(愛知県)
・秋山　一也　様(東京都)
・西川　淳　様(滋賀県)
・星野　朋奈　様(栃木県)
・松本　浚嗣　様(愛知県)
・佐藤　眞知　様(静岡県)
・吉川　正　様(大阪府)
・伊藤　賢　様(愛知県)
・岡田　一也　様(奈良県)
・飯島　征則　様(東京都)
・瀬尾　恵子　様(広島県)
・細川　良雪　様(鳥取県)
・長田　匡示　様(大阪府)
・宮下　勝　様(北海道)
・久保田匡美　様(大阪府)
・山田　昌樹　様(愛媛県)
・中島　敏樹　様(大分県)
・西表美也子　様(千葉県)
・宮本　健蔵　様(東京都)
・田島　勝巳　様(埼玉県)
・安東　康裕　様(東京都)
・三宅　武　様(神奈川県)
・手嶋　美香　様(愛知県)
・肥後　正道　様(神奈川県)
・福田　賢一　様(京都府)
・境　祐輔　様(兵庫県)
・山中　誠二　様(愛知県)
・落合　晋也　様(大阪府)
・中山ひとみ　様(東京都)
※掲載のご承諾をいただいた方のみ掲載しています。

恒例 蓮・灯籠等、回収いたします
組合員・地域の皆様へ
日時／9月13日(日) AM 8:30～AM 9:30
会場／虹のホール駒ヶ根
事前相談会開催 9月19日(土) 会場／虹のホール駒ヶ根 時間／9:00～16:00
虹のホール駒ヶ根　虹のホール伊南
料　金（1対につき）
●虹のかけ橋会員…400円　●JA組合員……500円
●会員・組合員以外…700円（当日会員受付致します）
もしもの時はお電話を!!
フリーダイヤル 0120-81-1509 TEL0265-81-1109
(株)グレース
本社／伊那市東春近TEL 0265-76-2080
ホームページ http://grace-ja.com
広告

暮らしのメモ

9月 わんぱくカレンダー



お問合せ　飯島町教育委員会
☎ 0265-86-6711
✉ gakkou@town.iijima.lg.jp

日【にちようび】SUN	月【げつようび】MON	火【かようび】TUE	水【すいようび】WED	木【もくようび】THU	金【きんようび】FRI	土【どようび】SAT
	子育て支援センター 【つどいのひろば】 A9:00～正午　P1:00～4:00 【おはなしの広場】 月～金曜日　A11:30～正午 【子育て相談】A8:30～P5:15 ☎ 0265-86-8131	1 休館日（図書館） 高校体験（飯中） 防災訓練（3園） 防災訓練（七小）	2 園開放（飯保） 小中合同避難訓練 （飯小・七小）	3 プール納め（七小） 図書館出前よみきかせ （支セ） 高校体験（飯中） 飯小タイムス（飯小）	4 コンサート（支セ） サイトウキネンオペラ 鑑賞（飯中） 園庭整備（飯保） 誕生日会（3園）	5 わくわく消防 パーク（南消防署） 高校体験（飯中） PTA運動交流会（七小） 土曜参観・学校保健委員会 （七小）
6 水泳南信大会（飯中） 6年生交流会（飯小・七小） 絵本とあそぶつどい （図書館） 園庭整備（七保、東保）	7 休館日（図書館） 土曜参観振替休日 （七小）	8 休館日（図書館） わんぱく広場（支セ） こりすの会試食会（七保） 高校体験（飯中） 6年修学旅行①（飯小）	9 休館日（図書館） 高校体験（飯中） 6年修学旅行②（飯小）	10 休館日（図書館） 6年計画休業（飯小） 生徒会・地区生徒会 （飯中）	11 休館日（図書館） おはなしの広場（支セ） 内科健診（七保）	12 休館日（図書館） 土曜参観日（飯小） 新人戦野球予選（飯中） おはなしの森（図書館）
13 休館日（図書館）	14 休館日（図書館） 土曜参観振替休日 （飯小）	15 休館日（図書館） つどいの広場（支セ） 4年社会見学（飯小）	16 休館日（図書館） 6年修学旅行①（七小）	17 休館日（図書館） 図書館出前よみきかせ （支セ） 6年修学旅行②（七小）	18 休館日（図書館） 全校俳句会（飯小） 6年休業日（七小）	19 新人戦バスケ予選 （飯中）
20 新人戦バスケ予選 （飯中）	21 祝日開館日 （図書館） 敬老会	22 祝日開館日 （図書館） 国民の休日	23 祝日開館日 （図書館） 秋分の日 中南信陸上（飯中）	24 休館日（図書館） 飯小タイム（飯小）	25 休館日（図書館） おはなしの広場（支セ） 交通安全教室（飯小） 4年社会見学（七小）	26 PTA秋の作業（飯小）
27 運動会（3園）	28 休館日（図書館） 振替休日（3園） 特別保育（七保）	29 交通安全手紙手渡し 4･6年生（七小） 身体測定（3園）	30 休館日（図書館） 保育参加（七保） 園外保育（東部） 森の学校4年（七小）	教育相談 月～金曜日（中学登校日） A8:30~P3:00 飯島体育館 ☎ 0265-86-2135	家庭相談 火･木･金曜日 A8:30～P5:15 こども室 ☎ 0265-86-6711	移動図書館車 毎週水曜日：七保･七小 毎週木曜日：飯保 毎週金曜日：東保･飯小

飯島保育園（飯保）、七久保保育園（七保）、東部保育園（東保）、全保育園（3園）、
子育て支援センター（支セ）、飯島小学校（飯小）、七久保小学校（七小）、
飯島中学校（飯中）、飯小･七小･飯中（三校）、町図書館（図書館）、（生涯セ）生涯学習センター

環境衛生自治会だより

■9月のごみ･資源収集

種別＼地区	飯島 東	飯島 西	田切 東	田切 西	本郷	七久保
古紙・布類	7日（月）	14日（月）	21日（月）			28日（月）
ビン・スチール缶 アルミ類・灰・蛍光管	3日（木）				17日（木）	
ペットボトル	12日（土）				26日（土）	
可燃ごみ（祝日も○）	月･木	火･金	月･木	火・金		
不燃ごみ（祝日は×）	水		木			
粗大ごみ（有料） 小型家電（無料）	6日（日） A 8：00～8：55　田切体育館 A 9：05～10：00　本郷体育館					

■ご家庭からの排水について

家庭の生活排水を直接河川等へ排水している場合や、簡易沈殿槽を利用していても適切な管理が行われていない場合、悪臭や水質汚濁を招きます。沈殿槽をご利用の方は定期的な管理をお願いします。生活排水を直接河川等へ排出している方は、環境を守るためにも下水道施設へのつなぎ込みや合併浄化槽の設置をご検討ください。

お問合せ　住民税務課生活環境係（内線 157）

地域子育て支援センター

■9月のイベント

▶リトミック（木下妙子先生）
日　時：9月3日（木）　午前 10：30～
　　17日（木）　午前 10：30～
場　所：成人大学センター
持ち物：飲み物、汗ふきタオル

▶バイオリンとピアノのコンサート（藤塚先生）
（飯島地区社協デイサービスと合同）
日　時：9月4日（金）　午前 10：30～
場　所：成人大学センター

▶わんぱく広場（来入園児対象）
日　時：9月8日（火）　午前 10：30～
場　所：成人大学センター
持ち物：飲み物、タオル　など

▶つどいのひろば「与田切公園で遊ぼう！」
日　時：9月15日（火）　午前 10：00～
場　所：与田切公園　※現地集合
持ち物：飲み物、タオル、着替え　など

※詳しくは、支援センターで配布する9月の予定表をご覧ください。

★子育て相談…どんな小さなことでもかまいません。
ひとりで悩まないで一度ご相談ください。
育児相談・訪問相談・グループ相談も行っています。

お問合せ　子育て支援センター　☎ 0265-86-8131

みんなの健康

■赤ちゃんメモ（場所：西庁舎保健センター）　問内線 189

○3ヶ月児健康診査
日　時：9月1日（火）午後1時
対　象：平成27年5月生まれ

○5ヶ月児育児相談
日　時：9月15日（火）午前9時10分
対　象：平成27年4月生まれ

○9ヶ月児健康診査
日　時：9月1日（火）午後1時
対　象：平成26年11月生まれ

○12ヶ月児育児相談
日　時：9月15日（火）午前9時10分
対　象：平成26年9月生まれ

○2歳6ヶ月児育児相談
日　時：9月14日（月）午前9時10分
対　象：平成25年1月～3月生まれ

○3歳児健康診査
日　時：9月18日（金）午後1時
対　象：平成24年7月～9月生まれ

■検診など　問健康福祉課保健医療係（内線 172）

○総合健康診査（予約制）
日　時：9月11日（金）午前8時30分～
場　所：伊那健康センター

○子宮がん検診
日　時：9月2日（水）午後12時45分～1時20分
場　所：七久保林業センター

○子宮がん検診
日　時：月・水・金　午後3時～4時30分
場　所：駒ヶ根高原レディスクリニック

○乳がん検診（予約制）
日　時：9月9日（水）午後12時～1時30分
場　所：西庁舎保健センター

○マンモグラフィ検診（予約制）
日　時：9月16日（水）午後1時30分～
場　所：昭和伊南総合病院

○マンモグラフィ検診（予約制）
日　時：9月28日（月）午後1時15分～
場　所：西庁舎保健センター

緊急当番医

		市外局番　0265
9月6日（日）	おはようクリニック（駒）	83-6103
9月13日（日）	のどかクリニック（飯）	86-6705
	下平けやき診療所（駒）	81-6303
9月20日（日）	須田医院（駒）	81-5050
9月21日（月）	座光寺内科医院（駒）	83-3222
9月22日（火）	東伊那すこやかクリニック（駒）	83-4024
9月23日（水）	飯島診療所（飯）	86-2030
	木下医院（駒）	82-3712
9月27日（日）	北原医院（宮）	85-2214

（駒）駒ヶ根市、（中）中川村、（宮）宮田村

■日曜歯科緊急診療

9月6日・13日・20日・21日・22日・23日・27日
場所：上伊那口腔保健センター（伊那市保健センター内）
受付：午前8時30分～11時30分　☎0265-78-8510

お問合せ　健康福祉課保健医療係（内線 172）

健康と介護予防の教室

■健康教室　問健康福祉課保健医療係（内線 199）

○音楽療法（ストレスを解消したい方）
日　時：9月2日（水）午前9時30分～
場　所：コスモス園

○あじさいの会
日　時：9月8日（火）午後4時～
場　所：西庁舎保健センター

■介護予防教室　問健康福祉課高齢者福祉係（内線 196）

○はつらつ体操教室
日　時：9月1・8・15・29日　午後1時10分～
場　所：本郷公民館

○寺子屋いひじま
日　時：9月2・9・16・30日　午前9時30分～
場　所：役場2階防災集会室

CATV行政チャンネル

■9月の番組予定

7日～ 語り継ぐ戦争体験
14日～ 社協だより
21日～ 営農センターだより
28日～ 健康がいちばん

※番組の切り替えは月曜のP7:00です。

【チャンネル】
・デジタル「C522」

【放送時間】
A6:30、A8:30、P0:30、P7:00、P9:00、P11:00

お問合せ　総務課文書情報係（内線 216）

体育館開放日

日　時：9月12日（土）　午後7時30分～9時
場　所：飯島体育館・田切体育館・本郷体育館
　　B＆G海洋センター体育館

お問合せ　教育委員会生涯学習係（内線 635）

編集後記

先の大戦から70年、私たちの世代が重要な立場に居ることを今月の取材で感じました。私たちの世代が知り、子どもたちに伝えていかなくては、戦争のことだけではなく、様々なことが風化していきます。裏表紙で紹介している郷土研究会は、大切な郷土の歴史や文化を守りながら、後世へ伝えていこうと、意欲的に活動されています。しかし、会員の年齢は年々上がり、活動に参加する会員も少なくなっているそうです。私たちの世代は歴史や郷土のことを自分の子どもたちに伝えることができるのか…。まずは、町誌を読むことから始めようと思います。（ち）

いいじま未来飛行 8
No.526
H27.8.20

平成26年度 飯島中学校3年2組制作

切り絵「ふるさとの愛2015」

■8月の町の風景

夏！　おいしい越百の水で喉をうるおす

【情景】与田切公園内に湧き出る越百の水。中央アルプスを水源とするおいしい地下水で、渇いたのどを潤しています。

地域づくり活動の紹介【Vol. 5】

いいじままちきょうどけんきゅうかい「飯島町郷土研究会」

発足から46年

飯島町郷土研究会（桃澤匡行会長（本郷第三）は、郷土の歴史や民俗、文化財などの調査研究と失われていく文化財を守ろうと、同好者が集まり、昭和44年に発足しました。会員はおよそ40人で、主な活動は郷土の歴史に関する講演会や史跡見学を開催しているほか、会員が保有する逸品や自慢の品を持参し、いわれや思いを披露する「持ち寄り会」を定例的に開いています。また、最近では歴史に加え、郷土の自然についても調査研究を進めています。

8月の定例会は戦争をテーマに開催

郷土の歴史を後世へ残す

歴史を後世に残すため、会では昭和50年に発行した「飯島町歴史年表」をはじめ、5ページに掲載の写真集「飯島町の百年」など、これまでに16冊の本や冊子を出版しています。中でも15ページに掲載の「ふるさとの昔話第二集」は、町に伝わる民話の聞き取りから執筆、挿絵までを町民有志と共に行った本です。全編カラーで字も大きく、小学生でも読むことができます。これらは、飯島町図書館に寄贈されていますので、ご覧ください。地域の歴史を本という形にまとめ、後世へとつなぐことも、この会の重要な活動です。

桃澤会長（中央）と熱心に語る会員

8月の持ち寄り会から

8月2日、70年目の終戦記念日を前に、戦争に関するおはなし会と持ち寄り会が開催されました。この日は志願兵として出征した体験や、満州での生活体験を聞いた後、会員が持ち寄った戦争に関する品々を鑑賞して、戦争当時を振り返りました。

持ち寄った逸品についての情報交換

会では、随時会員を募集しています。「郷土のことを知ることで、この町がもっと好きになればいいですね」と多くの方が会に参加していただけることを期待しています。

お問合せ・入会申込み
飯島町郷土研究会　会長　桃澤匡行
☎0265-86-2707

人のうごき

【8月1日現在】（　）内は前月比

人口	男	女	世帯数
9,802人（+14）	4,748人（±0）	5,054人（+14）	3,466戸（+7）

いいちゃんメールの登録は右のQRコードにアクセス！そのまま空メールを送信してね

この広報誌は「地球にいいことちゃんとできる」をモットーに、古紙使用の再生紙と大豆インキを使っています。

PRINTED WITH SOY INK

発行／〒399－3797 長野県上伊那郡飯島町飯島2537番地 飯島町役場
【電話】0265(86)3111【URL】http://www.town.iijima.lg.jp
【FAX】0265(86)4395【Eメール】soumu@town.iijima.lg.jp
編集／総務課・広報編集会議　印刷／㈱宮澤印刷